本島町笠島・空き家活用プロジェクト

香川歴史的建造物保存活用会議
KAGAWA HISTORICAL ARCHITECTURE COMMITTEE

2022.07.03

はじめに／自己紹介・用語説明

香川歴史的建造物保存活用会議

KAGAWA HISTORICAL ARCHITECTURE COMMITTEE

- 歴史的建造物
- 本島町笠島（昭和60年・重伝建地区に選定）
- 重要伝統的建造物群保存地区
  （以下、重伝建地区という）

丸亀 島嶼部
笠島
「空き家と移住」
丸亀市
坂出市
宇多津町
綾歌郡
仲多度郡
多度津町
玉野市
香川郡
直島町
瀬戸中央自動車道
瀬戸大橋線
高松自動車道
讃岐国分寺跡
讃岐国府跡
讃岐府中駅
府中ダム
府中湖ＰＡ
府中湖ＳＩＣ
坂出ＪＣＴ
坂出ＩＣ
坂出北ＩＣ
宇多津駅
丸亀駅
丸亀城跡
多度津駅
讃岐塩屋駅
坂出港
丸亀港
多度津港
宇野駅
宇野港
児島駅
児島港
児島ＩＣ
上の町駅
与島ＰＡ
鵜ノ池ＳＡ
ＥＮＥＯＳ
Ｅスチール
水島港
高松西ＩＣ
高松檀紙ＩＣ
昭和町駅
香西駅
鬼無駅
国分駅
鶴川駅
坂出駅
十場駅
円座駅
挿頭丘駅
高松落合松平駅
本津川
香東川
栗林公園
讃岐富士
飯野山
六ッ目山
火ノ山
白峰山
五色台
国分台
王越山
紅峰
青峰
勝賀山
雄山
城山
金山
青ノ山
金倉川
大束川
綾川
上真島
高見島
二面島
亀笠島
不矢ノ洲
志々島
手島
尾方山
王頭山
広島
小手島
加沙越島
甚平鼻
高ノ越鼻
大槌島
備讃諸島
瀬戸内海
犬戻鼻
串山ノ鼻
地蔵山
尾高島
柏島
向島
直島
荒神島
葛島
家島
本島
高無防
牛島
沙弥島
三つ子島
小与島
与島
羽佐島
岩黒島
歩渡島
室木島
釜島
久須美鼻
松島
櫃石島
長島
六口島
弁天島
上水島
下水島
大杓島
小杓島
大柄杓島
イサロ濃地島
細濃地島
太濃地島
上濃地島
濃地諸島
水島灘
葛島
高ノ越鼻
国洲
小与島
小瀬居島
瀬居島
櫃戸瀬戸
小槌島
大槌島
乃生岬
木沢湾
亀水湾
神在鼻
生島湾
本島
小豆島
天狗山
牛ヶ首島
喜兵衛島
ヘラガ崎
京ノ上鵜島
井島
戸尻鼻
鞍掛
仙糀山
金刀比羅山
臥竜山
新割山
神登山
竜王山
鷲羽山
雁山岬
竪場島
祖父祖母島
鼻操鼻
櫃石島
帆掛石
烏帽子島
オカメノ鼻
柏島
尾高島
高見島
二面島
亀笠島
不矢ノ洲
志々島
手島
尾方山
王頭山
広島
小手島
加沙越鼻
甚平鼻
高ノ越鼻
大槌島
備讃諸島

《報告の概要》…島嶼部、重伝建地区、中心市街地「空き家と移住」の課題に向けて

空き家が増加、移住者が増えない
→将来、まちの後継者がいなくなる

特に、**重伝建地区である笠島**では、
文化財の保存活用を図ること →**活用**が問題となっている
（文化財は国民の財産 …国は30年間支援）

特に対応を急ぐ
笠島から
島嶼部や市街地
への展開を考える

[空き家見学ツアーを開催し**課題を把握→解決策提案]**

生活環境、居住環境、空き家、移住、仕事、
情報、運営体制、人材、協力体制　など

本事業後に、地元報告・協議・同意・承認

[課題解決に向け]　**「協働」でスタート**

地域の主体的取組に向けた体制づくり
（エリアマネージメント）

関連分野は、
文化財
離島振興
観光
都市計画　など

1.事業の目的

（何のために）

2.実施概要

（どんな方法で）

3.事業成果

（結果はどうなのか）

4.今後の展開

（課題解決に向けて）

1.事業の目的

（1）課題

①空き家

②移住

（2）本事業の目的

（3）協働事業の目的

（Ⅰ）課題

①空き家問題の解決における課題

所有者	・情報を公表したくない（面倒、**片付け**、個人情報など） ・価値や評価が分からない（個人差、時代性、価値観は多様）
移住等対象者	**「欲しい情報が入手しにくい」（価値観の多様性）** ・室内の状態 ・修理や改修の費用 ・地域の生活情報 ・知らない地域で暮らすことの不安
行政	・現状と課題把握、官民役割分担、将来ビジョン →**「協働」が不可欠**

②移住における課題　…単純に人口が増えれば良いというものではない

① 暮らし方 考え方の共有	・これまでは、**暗黙のルール**として共有 ・暮らし方や習慣が異なる居住者を受入て、**新旧の住人が共に暮らす**ための考え方の共有が必要
② 居住環境	・水回りなど**設備**、健康な生活に欠かせない**温熱環境**が現代の生活に未対応（特に笠島では）
③ 建物所有者への対応と、情報の受発信	・所有者が安心できる**維持管理のシステム**が不明確（相談・サポート体制、賃借売買の契約等） ・毎日の暮らしに関する**生活情報**の発信が不足 ・所有者と管理組織、相互の**連絡方法**など不十分 ・**空き家情報**は未整理、未発信

（2）本事業の目的

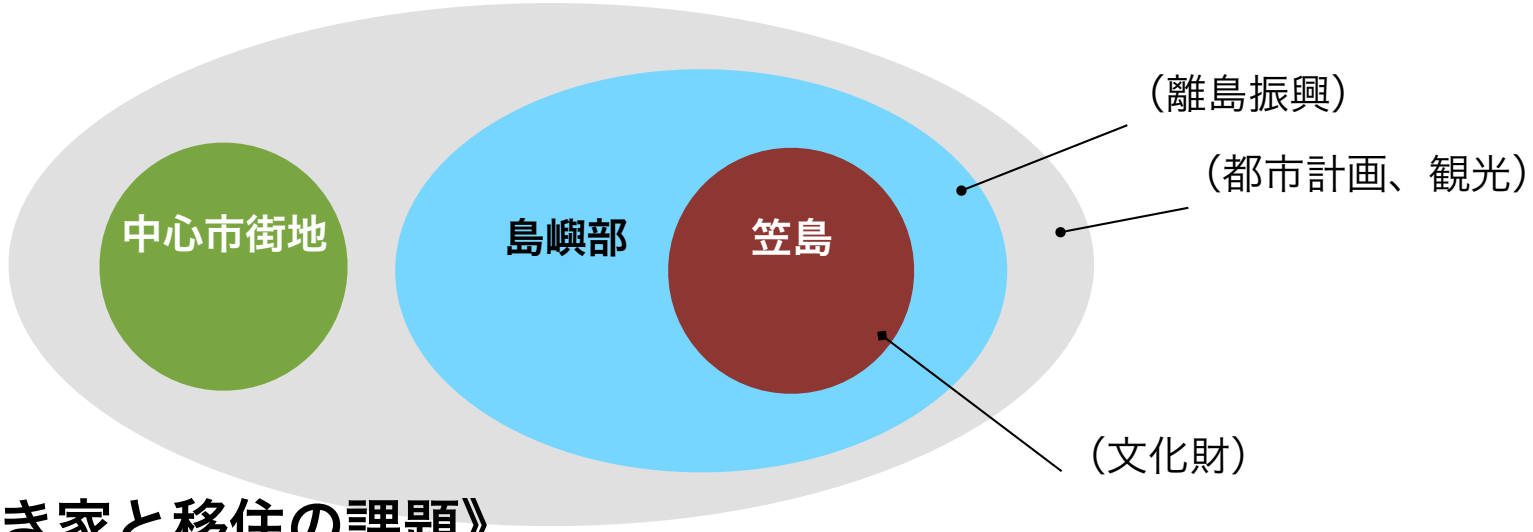
対応を急ぐ**笠島**で調査を行い

①島嶼部などの「空き家と移住」の問題解決策を探る

②重伝建地区である笠島の「後継者」問題解決策を探る

→笠島では問題の詳細を明らかにし、**具体的な進め方を提案する**

活用（生活して使う）による保存、重伝建地区としての存続を図る



《空き家と移住の課題》

笠島から全市的課題である「空き家と移住」問題の解決策を考える

《笠島における事業目標》

地域の主体的取組のための
エリアマネージメントの体制づくり

「エリアマネージメント」とは、
地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組み（国土交通省・平成20年）

・主体は行政ではなく民間 …官民の**役割**が明確であること

・多様な関係者が積極的に活動に参加

…地域に深く関わり、地域と一緒に考え、行動する

→ソフト面からのまちの活性化やにぎわい創出

→エリアのイメージアップ、ブランドの確立

（3）協働事業の目的 …丸亀市との「協働」により地域や社会の課題解決を図ること

◉提案事業の分野「まちづくり」
◉総合計画の施策における本事業の位置づけ

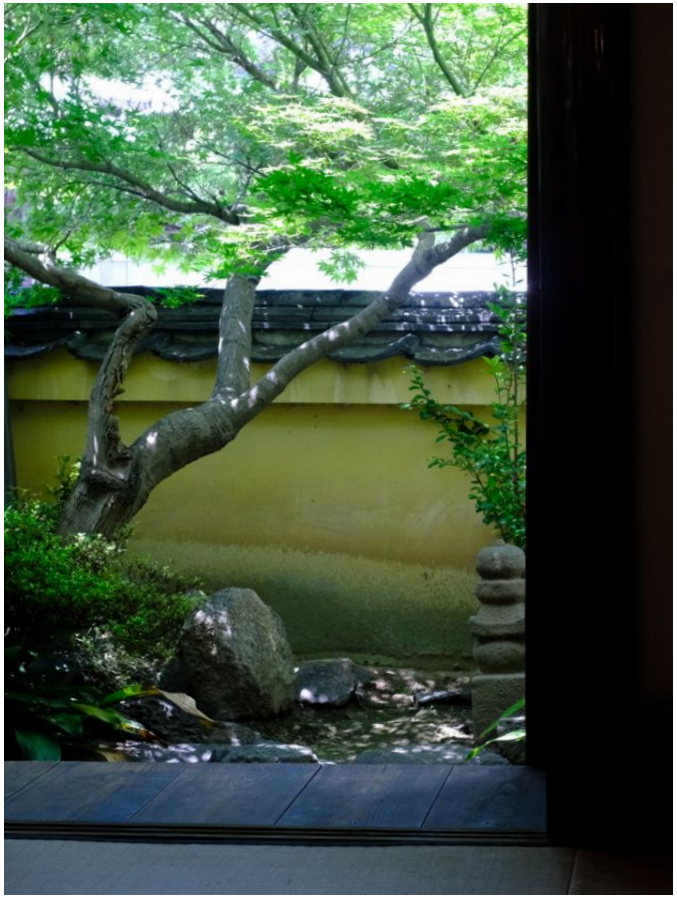
基本施策	6.土地利用と住環境の充実	暮らしたくなる環境
	15.商工業の振興	新しい仕事を創る
	16.観光・交流の促進	地域の暮らしを観る
	21.歴史資源の保存と活用	対象となる要素
	28.市民参画と協働の推進	どうやって実行するか
重点プロジェクト	14.リノベーションまちづくりの推進	
	17.空き家対策の強化	地域の資源を生かす
	39.観光DMOの推進	生活=観光を創り出す
	48.瀬戸内国際芸術祭との連携	広く知らせる機会

（※番号は総合計画の施策体系から）

2.実施概要

（空き家見学ツアー　→　空き家と移住の課題を探る）

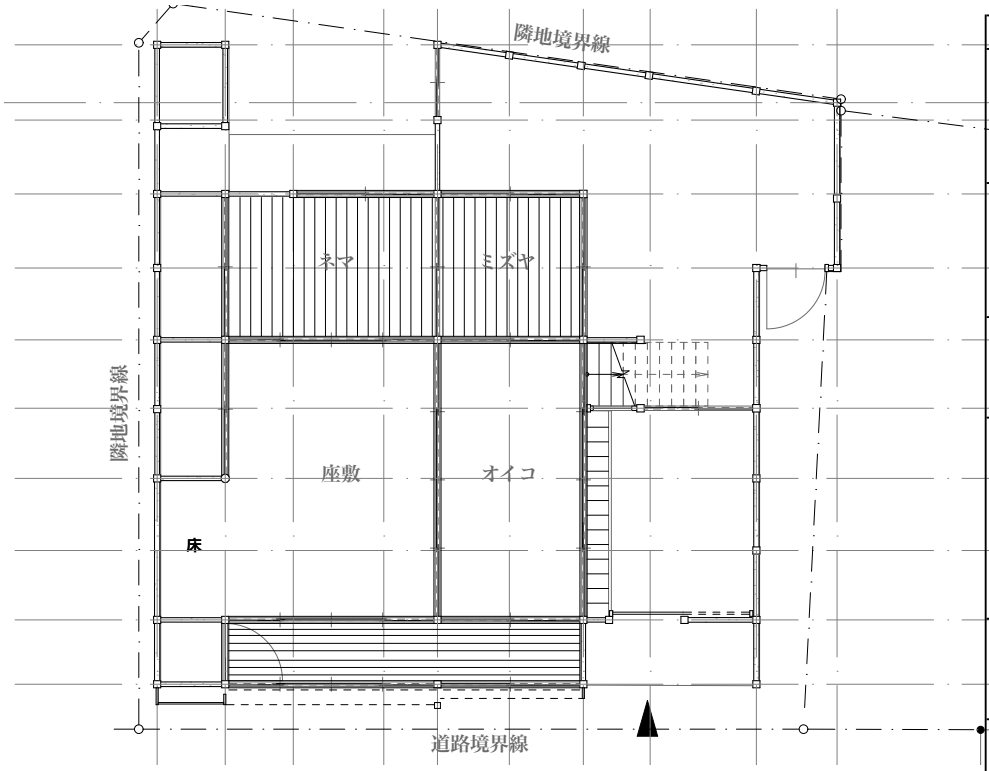
①空き家物件調査
②地域の生活情報調査
③笠島の建物（見学の対象）
・実測調査
・工事費概算の作成
・活用提案プラン作成
④参加者募集
⑤空き家見学ツアーの開催
⑥実施結果の整理
⑦地元説明と聞き取り調査



空き家活用の課題・対応策	事業の実施内容
［所有者］ ・情報を公表したくない **→空き家物件調査** ・価値や評価が分からない **→実測調査** **→活用提案プラン**	**①空き家物件調査** （笠島以外の空き家は不動産会社が協力） **②地域の生活情報調査**（募集案内に掲載） **③笠島の建物　実測調査** （見学対象）　**工事費概算の作成** **活用提案プラン作成** （協力：香川大学創造工学部、四国職能大） **④参加者募集**：アキリノ、HPなど **⑤空き家見学ツアーの開催**　10月30日 ・笠島外の建物４件　見学・評価等説明 ・笠島の建物にて意見交換 …地元から地域の暮らし方など説明 …アンケート、聞き取り調査
［入居対象者］ ・欲しい情報が入手しにくい 価値観の多様性、状態確認 修理費用、生活情報、暮らし方 **→活用提案プラン** **→工事費概算** **→生活情報調査** **→参加者みんなで意見交換**	

①空き家物件調査
②地域の生活情報調査

③笠島の建物　実測調査

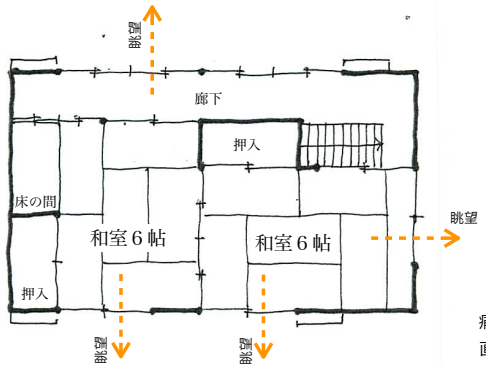


西立面図

旧鈴木邸　改修工事費概算／単位・千円（エアコン、照明器具、設計監理費　除く）　2021.8.5

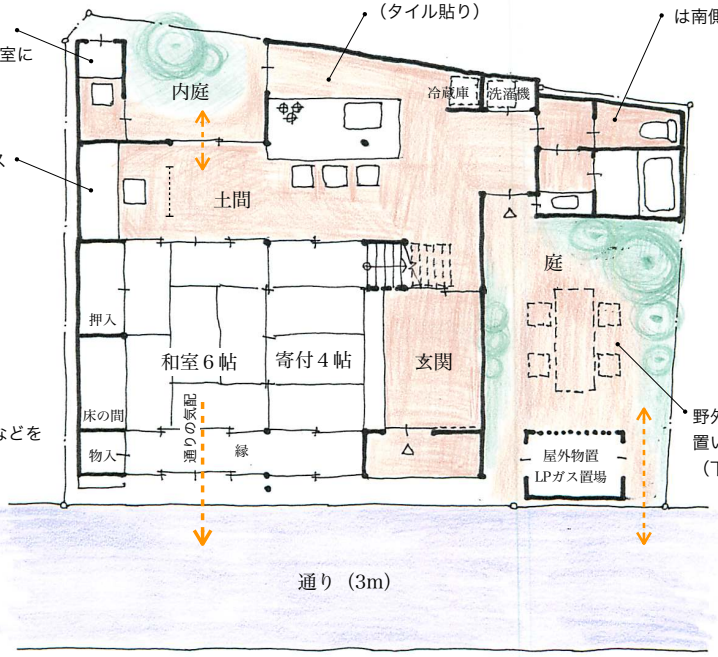
	仕様	数量	単位	単価	金額	小計	備考
1.仮設工事							
美装	工事前+完了事	30	坪		100		3日程度
発生材処分		30	坪		75		
仮設電気・水道	本工事に含む					175	
2.木工事							
土間部分 間仕切り	床上げ含む、並材	5	坪	200	1,000		
2階天井張り替え	杉板・フロア用程度	7	坪	30	210		
開口部回り調整		5	人	20	100	1,310	
3.左官工事							
床の間	漆喰塗り	10	㎡	5	50		
居室壁	漆喰同程度仕上げ	140	㎡	5	700	750	廊下含む7部屋
4.内装・建具工事							
畳（床薄縁含む）	藁床	29	枚	20	580		
襖	新規製作	20	枚	15	300		
障子	張り替え・調整	10	枚	10	100		
網戸	新規製作	10	枚	20	200		
外部建具調整	戸車交換など	1	式	50	50	1,230	
5.　雑工事							
天井断熱		1	式	150	150		
その他、雑工事		30	坪	3	90	240	
6.電気工事							
幹線・配線工事		1	式	700	700		
換気扇工事		1	式	100	100		
コンセント工事		1	式	50	50	850	
7.給排水工事							
合併処理浄化槽		1	式	500	500		
給排水工事	屋内外	1	式	500	500	1,000	
8.ユニット工事							
ユニットバス	組立込み	1	箇所	700	700		
便器		1	箇所	200	200		
洗面器具		1	箇所	100	100		
流し台		1	箇所	300	300		
給湯器	プロパンガス	1	箇所	300	300	1,600	
(1)直接工事費						7,155	A
(2)諸経費		20%				1,431	B
(3)直接経費（旅費）		1	式			200	C
小計						8,786	D=A+B+C
(4)消費税		10%				878	E=D×10%
						9,664	F=D+E

③④笠島の建物　実測調査と工事概算費算出



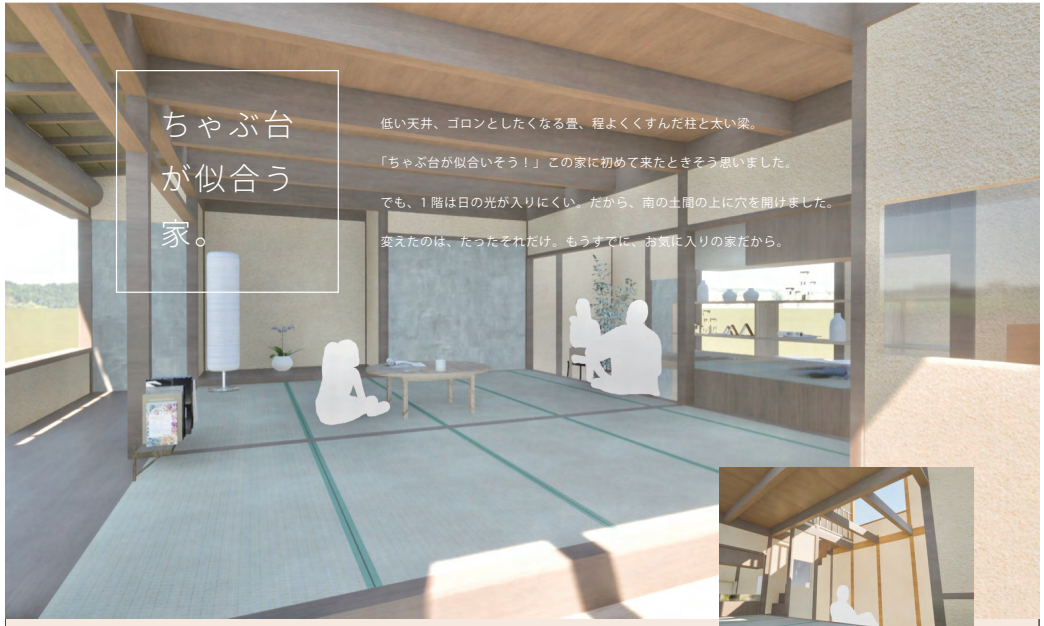
［２階］

痛んだところを
直すだけ



［１階］

土間や内庭などを
一体で使う



ちゃぶ台が似合う家。

低い天井、ゴロンとしたくなる畳、程よくくすんだ柱と太い梁。

「ちゃぶ台が似合いそう！」この家に初めて来たときそう思いました。

でも、１階は日の光が入りにくい。だから、南の土間の上に穴を開けました。

変えたのは、たったそれだけ。もうすでに、お気に入りの家だから。

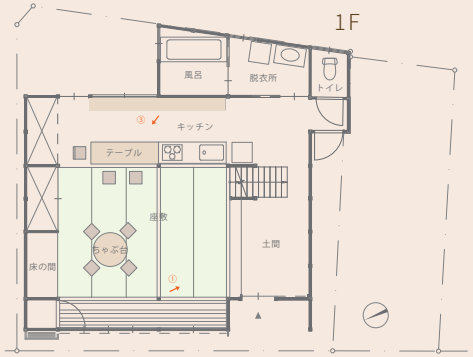
① 光が入るよう、土間を吹き抜けに

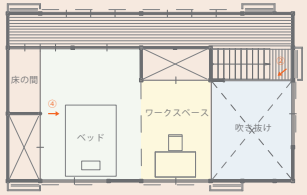
② 階段の上から１階を見る

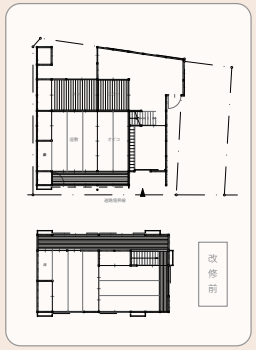
③ キッチンの奥にちゃぶ台の座敷

④ ２階には寝室とワークスペース

改修プラン







１人〜２人で、リモートワークをしながら暮らすことを想定したプランです。ちゃぶ台のある座敷は、友達やご近所さんを招き入れるのに十分な広さ。キッチンで島の食材を調理しながらの会話はきっと楽しいはず。

本島町笠島　旧鈴木邸　改修計画案

クリエーターのための島の家

～Maison de l'île　pour la créativité～

設 計 要 旨

今回の計画では、本島へ移り住む人を都会で文筆や作家活動といった、クリエイティブな仕事をする人物、或いはその本人と家族と想定した。

こうした職業の人達は、都会で働くことでその恩恵を受けているが、同時に都会の喧騒の中で自身の創造力をすり減らしており、その克服が常に課題となっている。

その解決方のひとつが「転地」による効果である。

生活の場を変えることにより、身体が活性化することは経験的に知られている。

本島はその環境としてふさわしいと考えている。

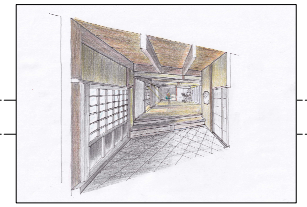
日常を離れて本島へ旅をすることで身体は目覚め、新たな環境へ順応する。本島の自然に触れ、瀬戸内海の美しい風景を目の当たりにし、朝夕の海風を感じると感性は間違いなく刺激される。また、地元の人たちと生活を共にするという普段と異なるなる生活はより大きな転地の効果をもたらすだろう。

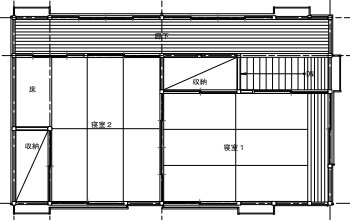
以上を踏まえ、「旧鈴木邸」を**『創造性の向上を期待する住処』**として活用することを提案する。

今計画では1階を専ら仕事の場、2階を寛ぎの場と考えた。そのため、仕事場となる1階の4部屋はフローリング仕上とし、電源をはじめ通信環境も十分整備する。それに対し2階は本来の姿を再現するにとどめ、島での穏やかな生活をより体感出来るものとした。

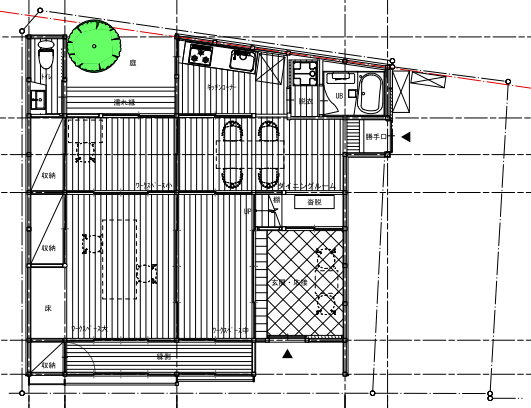
また、生活に欠かせない水回りは奥の増築部にコンパクトにまとめ、生活に支障のないよう配慮した。

立面図 1/100





2F 平面図 1/100



1F 平面図 1/100

一級建築士事務所
CAVOK Architects/土居　良助

✓ ISLAND LIVING

瀬戸内の島

「本島」の古民家を巡る旅

アキリノ
RENOVATION PLANNING
note - 02

「島で暮らしたい」「本島に興味がある」「あき家を見てみたい」
5つの物件をアキリノと一緒に探訪しよう。

参加者大募集！
詳しくはアキリノサイトへ

A 丸亀市 本島町甲生 売家 320万円
土地347.10㎡ 建物134.77㎡

ノスタルジーなキッチンがある平屋

○交通／「甲生」バス停下車 徒歩1分 ○建物構造／木造平屋建 ○築年月／1966年4月 ○間取り／5DK ○権利内容／所有権 ○取引態様／専任媒介

B 丸亀市 本島町甲生城根 売家 450万円
土地294.00㎡ 建物122.19㎡

即入居可。小さな畑もあります

○交通／「甲生口」バス停下車 徒歩3分 ○建物構造／木造2階建 ○築年月／1976年5月 ○間取り／4DK ○権利内容／所有権 ○取引態様／専任媒介

C 丸亀市 本島町笠島城根 売家 286万円
土地204.95㎡ 建物53.22㎡

隠れたデザイナーズ建築

○交通／「新在家」バス停下車 徒歩1分 ○建物構造／木造平屋建 ○築年月／1972年4月 ○間取り／1LDK ○権利内容／所有権 ○取引態様／専任媒介

D 丸亀市 本島町笠島 売家 325万円
土地149.00㎡ 建物98.39㎡

瀬戸大橋とともに島時間

○交通／「新在家」バス停下車 徒歩1分 ○建物構造／軽量鉄骨2階建 ○築年月／1975年4月 ○間取り／5DK ○権利内容／所有権 ○取引態様／専任媒介

本島の物件のお問い合わせ先
レアーレ砂本 tel：0877-25-5217
香川県知事免許（3）第4047号

今秋、本島のあき家ツアーを開催！

日時：2021年10月30日（土）
午前の部、午後の部／各5組

重要伝統的建造物群保存地区内の古民家活用プロジェクト

本島の笠島地区で、豊かな島の自然と誇しいまち並みの中で暮らしてみませんか？

対象物件の周辺の様子

E 丸亀市 本島町笠島
土地125㎡ 建物117㎡

歴史を感じる建築に囲まれて暮らす

○建物の特徴
昭和初期に建てられた二階建てで、通りに面した玄関を入ると広い土間がある町家です。二階東西の窓からは路地と瓦屋根の家並みを望むことができます。屋内はほぼ建築時の状態で当時の建具も残っています。

○建物の状態
屋根と外壁などは平成九年に修復されていますが、屋内はおそらく昭和初期の状態と思われます。奥の土間には井戸があります。

この物件を活用して、

賃貸での提供を予定しています。
改修工事は入居者が行い、移住者には改修工事補助金制度があります。使い方に制限はありませんが、地域の方々と仲良く暮らし、適切に建物を管理することが必要です。

入居までの流れ

①本島のあき家ツアーに参加
ツアーの詳細は、
アキリノサイトにて告知します➡
お問い合せ：087-834-4170（アキリノ編集部）

②この物件の改修サンプルプランを提案（複数案）
ツアーでは、実際に物件を見ながら県内の建築家が考えた活用プランの話を聞けます。空間（家）をどう使うか一緒に考えてみませんか？

③気に入ったら前向きに進める
なにかピンとくるものがあれば、それが島暮らしのタイミングです！

昭和な日本の暮らしに興味がある方を大募集！

町家が連なる昭和のまち並み、広い土間、襖と障子で仕切る開放的な間取り、床の間のある和室など、日本的な小さな住宅に興味があり、独密礼賛で紹介されるような環境で暮らしたいという人にオススメです。

まち並みも建物も「日本らしさ」が残っていた昭和初期の状態です。ここはヨーロッパなどの古い町のように歴史を受け継ぎながら現代の暮らしができる国内では数少ない場所です。丸亀や児島へは船で30分ほどで、自分らしく暮らす日常を実現するには最適な場所だと思います。

物件案内人：大西 泰弘
（香川歴史的建造物保存活用会議）

丸亀市塩飽本島町笠島 重要伝統的建造物群保存地区とは

全国の城下町・宿場町・港町・農村集落などに残る歴史的な建造物群とそのまち並みのうち、特に価値の高い地区を国が選定したもので、近畿には倉敷、堀町、内子町、吉良川町などがあります。香川県での選定地区は本島町笠島のみで、大半の建物とそのまち並みは江戸後期から昭和初期当時の姿に修復し保存されています。

地元の人の交流場所 本島の飲食店を紹介します！

honjima bakery
旅とおいしいものが大好きな店主が焼き上げるベーグル、食パン、惣菜パンなど。海を見ながらのんびりと過ごせるパン屋さんです。
営業：土、日曜 11:00〜15:00（LO14:30 売り切れ次第閉店）
出店や旅に出ていることもあるので、最新の営業日はFacebookページをご確認ください
https://www.facebook.com/honjimabakery/

gallery & cafe 吾亦紅
格子窓が美しい店内では、瀬戸内海に生息する魚の細密画を見ながら、野菜カレーや鯛のアクアパッツァがいただけます。
TEL：0877-27-3007、090-7575-3827
営業：土、日曜 11:30〜16:00 ※要事前予約
店休日など、詳しくはFacebookページをご確認ください
https://www.facebook.com/waremokou11/

やかた船
風情ある築216年の古民家に泊まれる民宿です。事前予約で食事だけの利用も可能。瀬戸内海の旬の魚料理がいただけます。
TEL：080-3886-9819
営業・定休日：電話にてご確認ください
※要事前予約（2名〜）

茶房伊達
30年以上続く、地元の人たちの憩いの場。本島で生まれ育った気さくな店主が、とれたての島の魚介や野菜でもてなしてくれます。
TEL：0877-27-3016
営業：6:00〜17:00（昼休みあり）
※要事前予約
定休日：不定休

本島暮らしの 素朴な疑問を住民の方に聞きました！

買い物はどうしてますか？
スーパーはなく、調味料や雑貨など生活に必要な様々なものを扱うよろず商店は数店あります。普段の買い物は、週1回移動スーパーや生協がくるのでまとめて注文しています。もしくは、丸亀市街地へ行きます。

インターネットの通信速度は？
光回線による高速インターネットサービスが通っています。FreeWi-Fiは、電波が弱い箇所があります。

仕事は？
島内で勤められる場所は限られています。移住だと、自営業か丸亀市街地方面へ通勤します。

病院は？
診療所が一つあります。緊急の場合は、夜中でも緊急船やヘリコプターを呼べます。

子育て環境は整っている？
幼稚園・保育所、小・中学校まであります。また、児童館もあるので、放課後自由に利用できます。

笠島集落の歴史と穏やかな本島の暮らし。

塩飽大工の調査・研究をライフワークとし、本島町笠島まち並保存協力会などの活動を続けた三宅邦夫さんに、本島の魅力を教えてもらいました。

物流を海路に頼っていた近代まで、瀬戸内海は多くの船が行き交う最重要ルートでした。その中でも潮の流れが複雑な塩飽諸島は難所。ここで育った船乗りは優れた操船術を持っていることから代々重宝され、そこから派生して造船も行っていました。その腕の良さから「塩飽大工」と呼ばれ、各地から引く手あまだったと言います。彼らが残した実績が、備中国分寺五重塔や善通寺五重塔、そして笠島集落です。笠島集落の古民家が今でもしっかり残っているのは、よい材木を見定め、確かな技術で建てられているからなのです。

深い歴史を持つ本島は、いい意味で昔の日本の暮らしが残っています。夜は静かで暗く、心を落ち着ける時間。日中に働き、休みの日には釣りをしたり庭仕事をしたり。レジャー施設のような場所はありませんが、自然を感じながら豊かに生きることができます。私も日々、波の音を聞き、海に沈む夕日を見ながら暮らしています。（三宅）

案内人
三宅邦夫さん

⑤空き家見学ツアーの開催

3.事業成果 …結果・課題・方策

（1）空き家見学ツアー

＜手法の効果＞

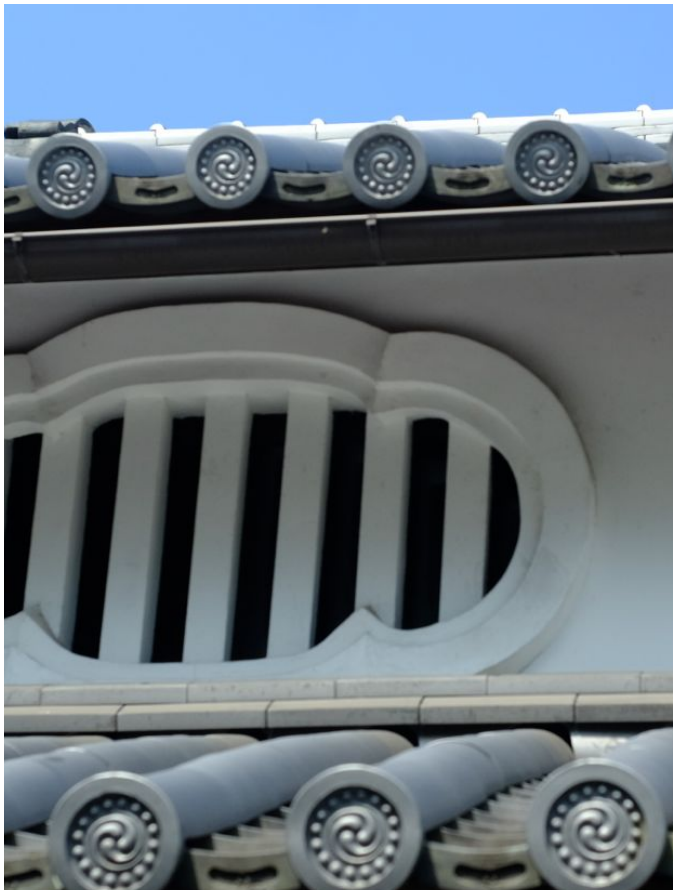
（2）空き家と移住

①情報発信

②居住環境

③笠島の後継者

（3）協働事業



（I）空き家見学ツアー …多様な評価で建物を生かす

一般参加者	◉空き家見学ツアーに興味　→参加の動機となった ◉概ね満足（建物の評価がわかった） …屋内の見学、地域の生活情報、修理予算、 　使い方の提案　→**自分で考えるのに役立った** …複数人数での参加　→**いろんな意見が聞けて良かった** ▲同様の事例がなく馴染みがない、募集期間が短いなど 　→問い合わせはあったが、応募は予測より少なかった
関連事業者 不動産・建設	◉空き家見学ツアーに興味　→参加の動機となった ◉他の地域への展開と効果に期待

《方策》

・空き家見学ツアーの普及

…壊されずに、生まれ変わって
　新たな価値を創る建物が増える

（2）空き家と移住

① 情報発信 …参加者は本島のことをよく知らなかった

地域情報	▲地域の魅力や特徴など情報が少なく、情報の対象者が不明確
移住情報	▲空き家や生活情報など移住者が必要とする情報が発信されていない

出典：地理院地図

医療・教育・買い物など生活条件は他の離島や山間部に比べてそんなに悪くない

《方策》

- 情報の収集整理
- 対応体制づくり
- 情報の受発信

② 居住環境 …住宅の安全性・快適性が問題　→住みにくい

排水設備	▲公共下水道が未整備、 合併処理浄化槽設置も困難
温熱環境	▲寒暖が厳しく健康に影響、 省エネ性能も問題
耐震性能	▲耐震性への対応は未整備
維持管理	▲空き家管理、 草刈り清掃など人材不足

③ 笠島の後継者 …住まない人への売買や貸借　→後継者不在

売買 貸借	▲売買や貸借のルールや届出の義務がなく、 管理者の関与がないまま建物が売買される例が見られる →別荘、店舗、投資など日常使用せず住まない建物の増加懸念 →コミュニケーション困難　→維持管理に良くない影響

ここで生活する人が居ることが重要

《方策》

・住宅の安全性と快適性の改善、支援制度の検討
・売買や賃借の原則を定めルールづくり（規則、契約書など）
・新旧住民が一緒に暮らすための環境づくり

（3）協働事業

◉「協働」の意味を改めて考える機会となった

▲「協働」への共通認識

…NPOや市民、行政の役割（専門性、継続性、総合的取組など）

…地域のことを知り、地域と一緒にまちをつくる

《方策》

・協働による継続的な取組

・「協働」認識の向上　…相互の役割の明確化など

・（笠島においては）宅地建物取り扱い事業者（重伝建地区を理解し、この活動の目的を逸脱しない事業者）の選定、認識ある事業者との協働

4.今後の展開

（1）笠島におけるエリア
マネージメントの体制
づくり

（2）空き家見学ツアー

（3）協働の継続

（1）笠島における
エリアマネージメントの体制づくり

…地元活動団体に協力

（6月15日、NPO法人本島町笠島まち並保存協力会 定例総会で承認）

《協力グループ》香川大学創造工学部、四国職業能力開発大学校、香川歴史的建造物保存活用会議

《目標》**住民にとって快適で暮らしやすい環境**をつくり、
重伝建地区のまち並み景観を維持保全する

《初年予定事業》

①活動拠点づくり：相互理解、地域と一緒に考え解決策を試行

②現状把握と課題整理：不足情報等建物調査、生活文化調査

③情報受発信の環境づくり：建物所有者、移住希望者へ

（2）空き家見学ツアー

①空き家見学ツアーを広め、仲間を増やす

・島嶼部や丸亀中心市街地の他、県内にも広げる

・建築や不動産関係者以外の多様な分野のプレーヤーと連携

②歴史的建造物の分野で丸亀城下町とつなげる

・丸亀城下町の歴史的建造物を対象に関連事業者と共に開催

・笠島と丸亀城下町を歴史文化で結び、
歴史的建造物などストックを**地域活力を生む資源**として活用

（3）協働の継続

①関連部署との**「協働」**を一層進める

・文化財、離島振興、観光、都市計画　など

②「協働」認識の共有

・相互の役割を明確にして、認識を共有する

《参考》望ましい「協働」の要素

・目的の共有
・対等性（NPOの自立性尊重）
・透明性
・有効性　など